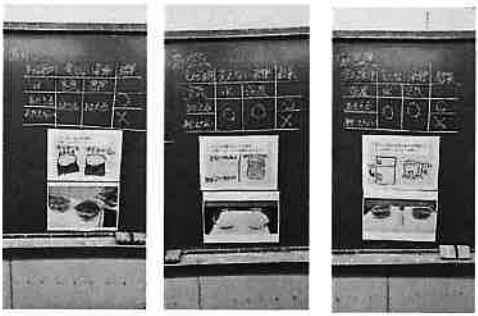


理 科 学 習 指 導 案

単 元 名	植物の発芽と成長	本時	5 / 14
本時の目標	○種子が発芽する条件について、得られた実験結果を基に考察し、表現することができる。(思考・判断・表現) ○種子の発芽には、水、空気、温度が関係していることを理解することができる。(知識・技能)		
ICT 活用の工夫・改善	Teams 会議で両校を結び、オンライン交流授業を行う。他校の結果と自校の結果を見比べて、ロイロノートの結果シートに結果を入力したり、結果を見ながら自分なりの考えを発表したりしながら、分かったことをロイロノートにまとめる。		
過程	時間	主 な 学 習 活 動	学習形態 指導上の留意点・評価 ☆人権教育の視点
つ か む 見 通 す	3分	1 3つの実験の予想を確認し合う。 2 今日のめあての確認をする。	一斉 ・ ロイロノートの実験シートで、両校の予想を確認し合う。(協和小・松ヶ崎小の順で教師の方で、予想を提示し進める。) ・ 児童からめあてを出させ、ロイロノートで、めあてを入力したシートを送る。(まとめシート付き) ・ 授業の流れを確認することで、本日の学習を焦点化する。 ・ タブレット活用について、操作やルールを確認しておく。
	3分	実験結果から、(全ての)種子が発芽するには、何が必要なのだろう。	
	2分	3 今日の学習の流れの確認をする。 ・ 両校の調べた結果を発表する。 ・ 両校の結果を見て、考えたことを発表する。 ・ 種子が発芽するために、何が必要なのかをまとめる。	
調 べ る 深 め る ま と め る	5分	4 自分たちの結果を調べよう。	ペア ・ 自分たちの結果を見て、結果をロイロノートのシートへ入力させ、発表の準備をさせる。
	5分	5 両校の結果の発表をする。(松ヶ崎小・協和小の順)	ペア ☆ 自校の結果と他校の結果を比べさせながら、しっかり聞かせ理解させる。(共感的人間関係)
	3分	6 結果の発表を聞いて、気付いたことや分からないことを発表する。(質疑応答)	個人(ペア) ・ 他校の結果から、気付いたことや疑問に思ったことを自由に出させる。
	4分	7 両校の結果を基に、種子が発芽するために何が必要(条件)なのかを自分なりにまとめる。	個人 ☆ ロイロノートのシートに自分のまとめを入力させる。理由も考えさせる。(自己決定の場)
	5分	8 自分のまとめを発表する。(協和小・松ヶ崎小の順) 9 まとめる。 (全ての)種子が発芽するためには、水、適当な温度、空気が必要です。	個人 一斉 ・ 自分のまとめを発表させる。(可能なら理由も発表する。) ・ 児童の発表を基に、教師の方でまとめを確認する。 ・ 種子の入っていた袋に表示している「発芽温度」を提示し、適当な温度が必要であることをおさえる。
生 か す	5分	10 「鹿児島学習定着度調査過去問題」をする。	個人 ・ 単元のねらいの達成状況の確認をすると共に、個別指導をする。(プリント配布・机間巡視)
	3分	11 振り返りをする。	個人 ・ 振り返りカードを自由に書かせる。時間があれば発表させる。
	2分	12 次時の予告をする。	一斉 ・ 「発芽にはなぜ、肥料がいらなのだろう。」と問いかけ、発芽後の成長に必要な条件について、焦点化を図っておく。

<p>実験結果から、(全ての)種子が発芽するには、何が必要なのだろう。</p> <p>・ 両校の調べた結果を発表する。 ・ 両校の結果を見て、考えたことを発表する。 ・ 種子が発芽するために、何が必要なのかをまとめる。</p>		<p>児童の発表</p> <p>児童の発表</p> <p>(全ての)種子が発芽するためには、水、適当な温度、空気が必要です。</p> <p>「発芽にはなぜ、肥料がいらなのだろう。」予告・・・</p>
---	--	---